

質問 紹介

2021年6月通常会議

市民を守る施策を具体的に提案

ダムありきやめ 流域治水を急げ!



豪雨時の大戸川 (2020年8月、綾井橋付近)

集中豪雨が多発し、市南部の大戸川もそのたびに増水・氾濫しています。流域の市民は不安を強めています。現在の河川整備計画はダム建設を見込んだもので、河川そのものの改修が進んでいません。ダムは完成まで早くても12年かかる上に、この間の災害では緊急放流により、被害を拡大させています。杉浦市議は、早急に住民参加で森林や水田活用などによる治水対策をと、市の姿勢を質しました。

杉浦とも子 市議

市は ダム建設を含めた河川整備にこだわる姿勢を崩しませんでした。

その他の質問項目

保育園、児童クラブ、障がい者福祉・雇用について

安定ヨウ素剤の事前配布を

小島よしお 市議

6月23日、関西電力は老朽化した高浜原発3号機の再稼働を強行しました。さまざまな工事も告発されており許せません。万が一事故が起されば、放射性物質は数時間で大津市に到達します。

小島市議は、吸い込む前に服用すれば甲状腺がんを抑えられる安定ヨウ素剤を、事前に配布するよう求めました。災害時は混乱が予想され、いざという時に間に合いません。市民を守る取り組みが必要です。

市は 事前配布はしない、災害時は避難所に緊急配布すると、前向きな答弁はありませんでした。

その他の質問項目

市の危機管理、国民健康保険について

子どもの医療費助成 今こそ拡充を

柏木けい子 市議

経済的理由で子どもを病院に行かせられない、受診をためらう家庭があります。しかし市は、子どもの医療費を小学校卒業までしか助成していません。全国では9割の自治体が中学校卒業まで助成しています。

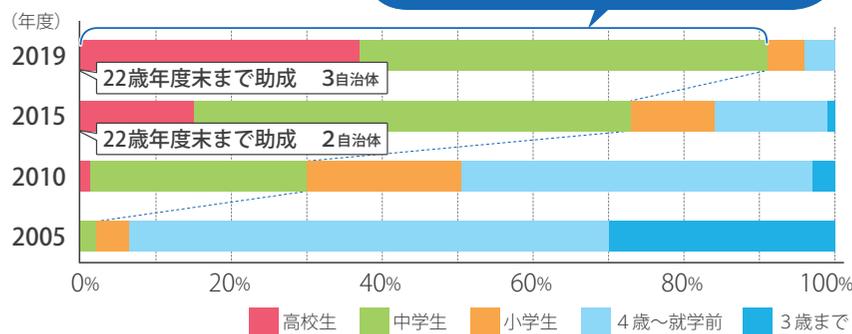
子どもたちの命と健康を守る責任は自治体にあります。とりわけコロナのもとでは、具合が悪ければすぐに診察を受けることが必要です。柏木市議は、助成対象をただちに引き上げるよう求めました。

市は しっかり助成している、本来は国がすべきこととこれまでの答弁をくり返すのみでした。

その他の質問項目

新型コロナウイルスの検査体制、ワクチン接種について

子ども医療費助成(通院)対象年齢の自治体比率



中学校卒業以上を助成する自治体 91%

北部にワクチン接種会場を!!

市民が請願

希望する全員が受けられる体制を早く

新型コロナワクチンの接種が始まっていますが、集団接種会場は市内に4カ所しかなく、遠くに行けないとあきらめる市民が出ています。特に市北部には集団接種会場そのものがなく、地域につくってほしい、議会で取り上げてと市民から請願が提出されました。

コロナ感染の収束が見通せない状況にあり、安全に早くワクチン接種を進める必要があります。党市議団は、接種会場までの交通手段の確保、個別接種のできる医療機関や接種後の副反応など必要な情報が行き渡るよう改善を求めています。

その他、コロナ対策の強化や選択的夫婦別姓の導入を求めるなどの請願も寄せられましたが、いずれも自民・公明会派などの反対で否決されました。

財政調整基金16億円増 命・暮らし応援に活用を

6月補正予算には、コロナ対策のため国の臨時交付金を活用し、障がい者施設への支援や公共施設の手洗い蛇口の自動化などが計上されました。しかし、党市議団がくり返し求めている福祉・保育施設などでのPCR検査の定期実施や、国保料や介護保険料の引き下

6月通常会議の議案

内容	日本共産党	(自民維新) 新和会	湖誠会 (自民系)	公明党	市民ネット (民主系)	協生会 (民主系)	清正会	立志会 (自民系)
請願								
市北部にコロナワクチン接種会場の設置を求める	○	×	×	×	×	×	○	×
意見書案								
重要土地利用規制法の廃止を求める	○	×	×	×	×	×	×	×
選択的夫婦別姓の導入を求める	○	×	×	×	×	×	○	×

○=賛成、×=反対 (他に3件の請願、6件の意見書案が提出されました)

げなど、市独自の施策はありません。一方、市が自由に使える財源「財政調整基金」は一昨年より16億円も増やしています。

党市議団は、市民を支える施策へ積極的に活用するよう求めました。また、国政に市民の声を届ける意見書案を7件提出しましたが、市民の声に背を向ける会派により否決されました。

みなさんとともに

日本共産党
大津市会議員団



杉浦とも子

090-4491-1522



たてみち秀彦

090-7105-3648



林まり

090-5045-2490



柏木けい子

090-1919-5298



小島よしお

090-5058-2832